

山陰道の建設促進について

中国部会提出

高速道路ネットワークは、地域経済の活性化はもとより、教育・医療・福祉などの生活環境を支える基本的なインフラであり、住民生活の基盤を確立し、豊かで活力ある地域社会を実現する『地方創生』のため、さらには、近年激甚化・頻発化する災害に対抗するために不可欠な社会基盤である。

しかしながら、県内における山陰道の供用率は他県に比べても低く、依然として多くのミッシングリンクが存在しており、企業誘致や市場の拡大、観光の振興など、県境を越えた経済交流や連携を図るうえで大きなハンデキャップとなっている。

また、近年、全国各地で甚大な被害をもたらす大災害が頻発しているが、高速道路ネットワークが緊急輸送路や避難路として重要な役割を果たし、「命の道」であることが実証されている。

今後は、ポストコロナ時代の新しい未来に向けて、新たな日常を通じた質の高い社会を目指していくことが必要で、東京一極集中型から多核連携型に転換していくためにも、山陰地域においては社会経済活動の基盤である山陰道の早期全線開通が不可欠である。

国においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を決定され、山陰道の早期整備に大きな追い風になるものと強く期待しているところであるが、一日も早い全線開通に向け特段の配慮がなされるよう要望する。